

# 平成29年度 学校関係者評価報告書

学) 真観学園 霧ヶ丘幼稚園

## 1. 本園の教育目標

- ・自ら考えて行動できる子ども（意欲・思考・自律・自立）
- ・豊かな感性が育ち、生き生きと表現する子ども（発想・工夫・自信）
- ・自己も他者も尊重して良い人間関係を築ける子ども（快活・協調・思いやり）

## 2、本年度重点的に取り組む目標・計画

本園の教育目標のもと、評価項目について自己点検・自己評価を実施することによって、教職員が客観的に自らを振り返り教育内容の改善に取り組んでいく。

## 3、評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	取り組み状況
1	保育の在り方	<ul style="list-style-type: none"><li>・教育課程に添って、その時期にふさわしい生活や遊びを展開していくことができた。</li><li>・各学年それぞれ、充実した内容もあれば、反省が残る内容もある。反省は是非とも次年度に生かしていきたい。</li><li>・子どもたちの興味関心に合わせ、主体的に活動を展開できるよう、環境を整えていった。</li><li>・一人一人の発達の課題に即した援助を心がけた。</li></ul>
2	教師としての資質や保育の質の向上	<ul style="list-style-type: none"><li>・個人の記録を丁寧にとることで、課題が明確になり、必要な援助ができる。</li><li>・担任が整えた仕掛けによって、子どものイメージがどんどん膨らみ、遊びが展開されていく。教師は子どもたちのニーズに応えられるよう、自らも様々な体験をし、より感性を磨いていこう。</li><li>・子どもの発達を理解し、年齢に応じたかかわりが大切。</li><li>・年長組は、多様な体験を通して、子ども同士で目的を持ち、どんどん展開していく力を持っている。適切な援助をしていくことで、主体的で充実した園生活が展開されていく。難しいがやりがいを感じた。</li></ul>
3	保護者への対応	<ul style="list-style-type: none"><li>・日常の子どもたちの姿をより理解してもらいたいため、写真付のクラスだよりを作成し、知らせていった。</li><li>・保護者への連絡を密に行い、信頼関係を築いていく。 保護者との信頼関係は、子どもの成長に良い影響を与え、成長をともに喜び会える存在になれる。</li></ul>

#### 4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

一人一人の教職員が自己点検評価した結果をもとに、グループに分かれて各項目別に話し合っていくことで、自分の課題や学年の課題、園の課題が明らかになってきた。それらを内省した上、次年度に目標を持ち、実践をしていくことで、幼稚園の中で生き生きと子どもたちが生活し、良い成長を見せてくれると共に、保護者や教師も変れるものと考えている。

#### 5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	保育の質の向上	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 幼児期の発達の特徴を理解し、一人一人に応じたねらいを持ち、幼児期にふさわしい生活（遊びや体験）を整えていけるよう努めていきたい。（研修会への参加、学んだことをすぐ実践。教師間での学び合い。）</li><li>・ 自らも様々な体験をし、より感性を磨いていく。</li><li>・ 子どもに対して、常に肯定的な受け止めをし、非認知能力を意識して育んでいきたい。</li></ul>
2	教職員間の連携 組織の一員として	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 次年度に生かされる記録の作成、『ねらい』や細部にわたっての説明が明確で、わかりやすい記録の取り方を工夫していく。</li><li>・ 職員全体の意識統一を大切にしていく。</li><li>・ 人任せにせず、自分にできることはないかという姿勢を大切にする。</li></ul>
3	新年度の目標	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 日常的に学び合う姿勢を大切にし、園内研修を充実させていく。お互いに学び合い、保育のスキルを高めていく。</li><li>・ 自ら尋ね、動き、学んでいきたい。</li></ul>

#### 6. 学校関係者の評価

教職員が、子ども一人一人の育ちを丁寧に受け止め、細やかな配慮がなされている。

担任や教職員などの温かなかわりが子どもの安心感につながり、子ども同士のかかわりにも温かさを感じる。

「栽培体験で、苦手な野菜が食べられるようになった。」「子どもたちの中で認められる体験をし、自信がついてきた。」など幼稚園における豊かな体験をとおして、子どもの成長が感じられ、大変うれしく思う。

多くの研修にも参加し、教師が保育の質の向上を目指す姿勢が感じられる。今後も保育に反映して行ってほしいと願う。